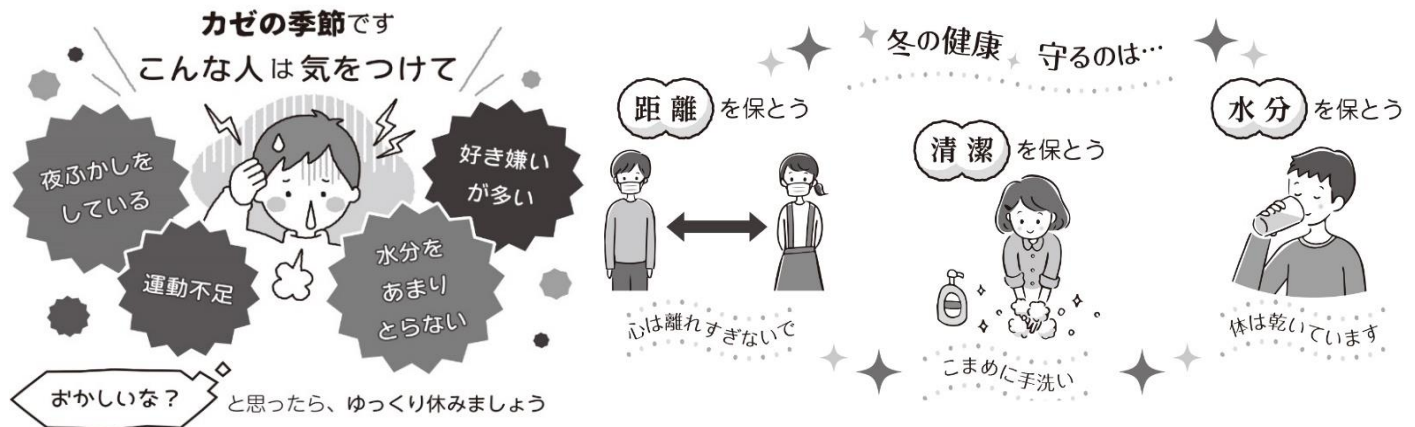


# 保健だより 12月

ホームページ版  
R3.12.1発行  
徳島県立城北高等学校

寒さが身にしみる季節になりました。新型コロナウイルスによる感染症は現在落ち着いていますが、まだ終息はしていません。また、カゼやインフルエンザの流行の季節です。体調を崩さないよう手洗いなど引き続き感染症対策をしっかりとしましょう。

## 油断しないで！これからの季節こそ感染症対策を！！



## 12月1日は「世界エイズデー」

エイズとは…HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染し、免疫力が低下することによって発症する病気。

### HIVの感染経路

① 性行為による感染



② 血液を介しての感染



③ 母子感染



日本では性行為による感染が最も多い感染経路です。

感染者との性行為により性器や肛門、口などの粘膜や傷口からうつります。コンドームの正しい使用は、HIV感染を予防する最も有効な手段です。

いまのところ、からだの中のHIVを完全に除去する治療法はありません。しかし抗HIV療法の進歩によって、**エイズを発症する前にHIV感染を知り、適切な治療を受ければ、エイズを発症することなく、感染前と変わらない日常生活を送ることができる**ようになりました。最近では1日1錠ですむ薬も開発されています。



### HIVは感染しない

効果的な抗HIV療法を受けて、血液中のウイルスの量が規定の数値に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によって他の人に感染することはありません。このことをUndetectable（検出できない）=Untransmittable（感染しない）といいます。U=Uは「予防としての治療」という考え方をさらに進めた、エイズに関する差別や偏見をなくすためのメッセージです。

## レッドリボン30周年 ～Think Together Again～（2021年「世界エイズデー」キャンペーンテーマ）

エイズが世界的な問題になりつつあった30年前。ニューヨークの芸術家たちが、エイズで亡くなった仲間への追悼と、エイズに苦しむ人々への理解・支援の意思を表明するために運動を始めました。そのときのシンボルが「レッドリボン」です。

30年の間に治療法は進歩し、早期開始すればHIVに感染していない人と同等の生活を期待できるようになりました。けれど現状はそうした正確な情報が十分に伝わっているとは言えません。

レッドリボンに宿る意味を原点に立ち返って考え、HIV検査の受検促進や差別・偏見の解消を願うのがこのキャンペーンテーマ。「レッドリボン」に込められた思いは今も変わりません。

